

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 筑後川河道整備及び施工計画検討業務
業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集整理 一式 ・現地調査及び土質確認 一式 ・土質試験 一式 ・総合的な基本計画検討 一式 ・再堆積抑制及び河岸浸食抑制検討 一式 ・整備河道の設計 一式 ・施工計画検討 一式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 塚原 隆夫 福岡県久留米市高野一丁目2番1号
契 約 年 月 日	令和 6年 4月 3日
契 約 業 者 名	令和6年度 筑後川河道整備及び施工計画検討業務東京建設コンサルタント・北部九州河川利用協会設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契 約 金 額	34,980,000円(税込み)
予 定 価 格	34,980,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	筑後川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 4月 4日
履 行 期 間 (至)	令和 6年11月29日
備 考	入札情報サービス (PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度 筑後川河道整備及び施工計画検討業務
2. 履行場所 筑後川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区博多駅南 2-12-3
会社名：令和6年度 筑後川河道整備及び施工計画検討業務
東京建設コンサルタント・北部九州河川利用協会設計共同体
電話：092-432-8000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は筑後川本川の堆積土砂を除去し、洪水時の水位を下げる事で令和5年7月出水によりはん濫した支川への被害軽減効果を図ることを目的とした検討および、常態化した河道への土砂堆積箇所や河岸浸食箇所について、抑制対策を検討する。

また、河道掘削土砂については、有効活用の観点から、築堤材（堤防強化・一法化）としての活用・砂ストック（新たな利活用フィールドの創出含む）を図るとともに、検討区間の掘削や整備河道についての設計及び施工計画について検討するものである。

2) 業務の内容

- | | |
|------------------|----|
| ・資料収集整理 | 1式 |
| ・現地調査 | 1式 |
| ・総合的な基本計画検討 | 1式 |
| ・再堆積抑制及び河岸浸食抑制検討 | 1式 |
| ・整備河道の設計 | 1式 |
| ・施工計画検討 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が214者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、5者から参加表明書が提出され、5者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

また、評価テーマの「筑後川の河道整備（河道掘削・再堆積抑制・河岸浸食対策）及び掘削土活用を検討する上での留意点」に対する技術提案において、最も優れていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川河川事務所 工務第一課長